

社協だより



共同募金配分金で作成しています

発行 社会福祉法人 城陽市社会福祉協議会
城陽市寺田東ノ口17 福祉センター1階

TEL 0774 (56) 0909 平成29年冬発行
FAX 0774(56)2800 第122号
<http://www.kyoshakyo.or.jp/joyo/>



祝 朗読ボランティア 陽声 グループ奨励賞受賞

朗読ボランティア

活動メンバー募集

定例会:毎月第1火曜日 10:00～
活動内容:広報じょうよう等の音訳・送付、自主制作による声の雑誌陽声の月1回配付、依頼によるレコーディング・訪問朗読・対面朗読等
活動頻度:4班に分かれて活動
(各班月に4～5日活動)

会費:1200円/年

問合せ:市社協

☎ 56-0909



9月28日に大阪で行われた「第47回 朗読録音奉仕者感謝の集い」におきまして、「朗読ボランティア 陽声」が奨励賞を受賞されました。同グループは視覚障がいのある方にとって、よりよい情報提供と生活支援を目的に活動しています。社協だよりや広報じょうよう、市議会だより、自主製作の音訳録音発刊だけでなく、視覚障害者協会とも交流が深く、総会の資料作成や進行等への協力もしています。また、市主催の朗読入門講座への講師協力をはじめ、他市との交流や研修を重ねて、より聞きやすく分かりやすい朗読技術の向上への技術継承に努めています。こういったことが称えられ、今回の受賞となりました。おめでとうございます。

地域福祉活動計画Vを策定します ご意見をお聞かせください

市社協では、
今後5年間住民のみなさんと共に
福祉活動を進める方向性を
定めるため

地域福祉を考えましょう

地域福祉活動計画Vの策定にあたり、「地域福祉」がどうあるべきかもう一度考えてみましょう。

生活が不自由になったときの介護保険、高齢者や障がい者、子育てに関する支援など、公的なサービスはもちろん必要です。

しかし、「地域福祉」とは、高齢者や障がい者など公的サービスを受けている人のみが対象ではありません。

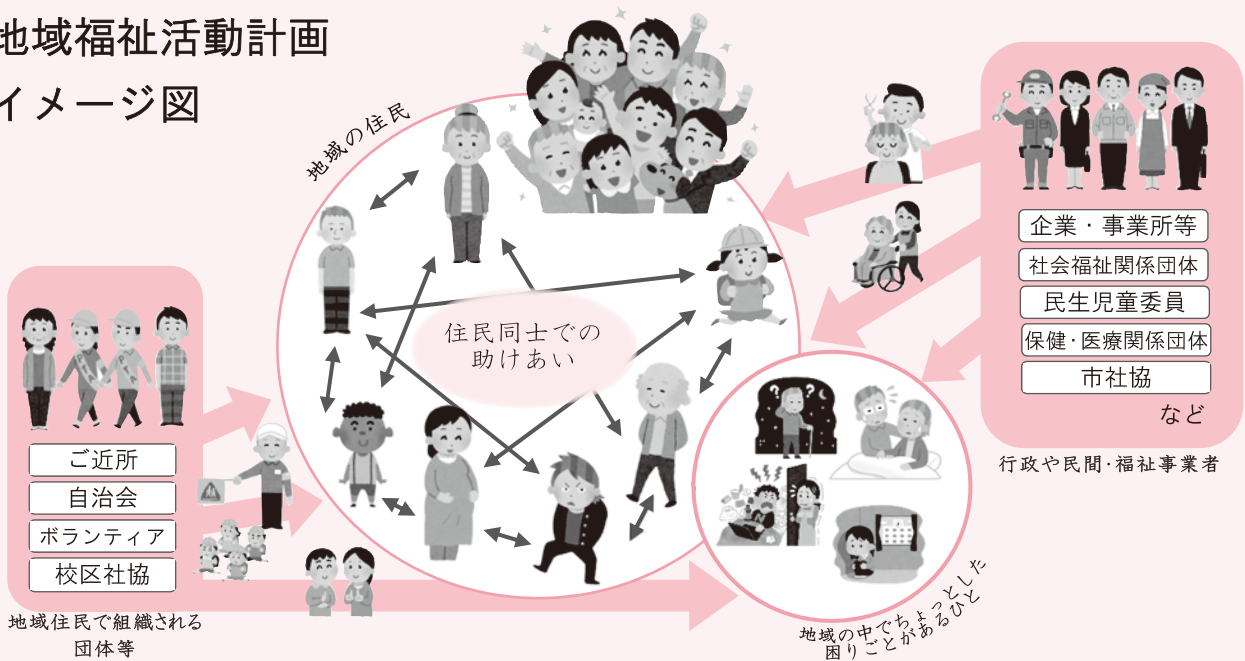
「〇〇さん最近元気がないようだけど、どうしたのかな？」など、ちょっとした心配や困りごとなど、公的サービスでは十分にカバーできない部分はあると思います。

様々な団体の方々がこれらのちょっとした心配や困りごとを支援するため、地域での支えあい活動をされていますが、それだけでは不十分な状況にあります。近隣での支えあいや地域での助けあい、企業・団体の関わりなどを通して、地域のだれもが安心して暮らせる地域づくりが求められています。

地域の方たちとのふれあいやちょっとした心づかい、お互いさまの助けあいがあるからこそ、より心豊かな暮らしができるのではないのでしょうか。

地域福祉活動計画

イメージ図



地域福祉活動計画とは？

地域のだれもが安心して暮らせる地域づくりをみんなで進めていくための活動・行動計画を取り決めたものです。

そして、計画に関係するすべての人々が「住みよい福祉のまちづくり」という同じ目標に向け歩調を合わせながら、地域の問題に対する理解を深め行動するための指針として位置づけられることに計画策定の意義があります。

これからの地域福祉活動計画

これまでの計画は、市社協の活動や事業展開を中心に示してきたため、住民のみなさまにとっては少し分かりづらい内容でした。

しかし、計画は本来身近な地域に存在する困りごとや問題点を、そこに住む住民自身が気づき、解決のために相互に話しあい、関係機関や専門職の援助も受けて行動する目印や目安となるべきものです。

したがって、今回の計画では、より分かりやすく、イメージしやすい活動や目標を示す「住民目線の計画」となるようにと考えています。

地域福祉活動計画V 基本理念（案）

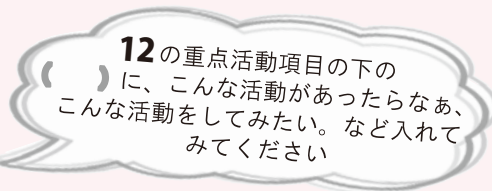
「あの人の幸せを 私の幸せに」

地域福祉活動計画IVの基本理念は、サービスや支援を受ける「あの人の幸せ」を支援する側の方が支援をする過程で生まれたつながり・喜び・生きがいなどを「私の幸せ」と感じられる温かい心が地域に広がるようにとの想いから作られました。そして、できるだけ住民の方に覚えていただきやすいようシン

ブルなものを採用しました。基本理念は、みんなが同じところを目指し活動できるためにあります。福祉の基本的なことを表現しているこの理念をみなさんと共有し、活動していきたいと考えます。そのため、地域福祉計画Vでは前期のIVの基本理念を継続しています。

地域福祉活動計画Vの骨子（案）

地域福祉活動計画V（案）（平成30～34年度）
6つの基本目標と12の重点活動項目



1 身近な地域における福祉コミュニティづくり（つながる）

小学校区ごとに様々な地域団体が組織化され活動されてきました。今後も地域の福祉力を高めていくために、地域住民・団体がまとまって、課題解決に取り組んでいきましょう

①みんなが参加できるいろんなきっかけづくり

②団体同士が協働する地域ぐるみの体制づくり

2 安心して気軽に集まれる地域の居場所づくり（あつまる）

地域に集まれる場所があることと、地域福祉活動の発展は密接な関係があります。「あつて良かった」と感じられる拠点と拠点機能を充実させましょう

③いつでも集まれる地域の活動拠点づくり

④孤立をしないための集まりの場づくり

3 何でも話せる地域の窓口づくり（はなせる）

身近にちょっとした悩みや愚痴が話せて、聞いてもらえる場所があると、孤立しない地域をつくるきっかけとなります。そして、専門職がその場に向かい相談を受け、より信頼され癒される「地域の窓口」をつくりましょう

⑤いろんな悩みが打ち明けられる信頼関係づくり

⑥困りごとを手助けにつなげる流れづくり

4 暮らしを支える仕組みづくり（ささえる）

公的制度だけでは支えきれない人たちが必ずいることを認識し、住民同士の助けあい活動やボランティア活動が広がるよう、行政・社協・民生委員・福祉事業者・企業などもしっかりとサポートする仕組みをつくりましょう

⑦専門職と企業もお手伝いする支えあいの関係づくり

⑧地域のみんで考える助けあいの活動探し

5 一人ひとりの思いを叶えるなかまづくり（かなえる）

地域の課題や思いをボランティアや助けあい活動に結びつけ、達成感や喜びが得られるよう、一人ひとりの思いを尊重できるなかまを増やしましょう

⑨多世代で取り組むボランティア活動の推進

⑩お互いを尊重しあえるサービスとサポートづくり

6 いつも頼りにされる組織づくり（たよれる）

住民組織が一つの協働組織として機能し地域課題に対応することで、必要とされる組織になると考えます。公・民合わせた応援も活用し、信頼される組織づくりをしましょう

⑪活動をサポートする人・物・金・情報の確保

⑫災害時に助けあえる日頃のつながりづくり

みなさんのご意見をお願いします

普段の暮らしで抱えている困りごとや思いは地域によっても一人ひとりによっても違うことと思います。より多くの方の意見が反映された計画を策定し、その計画をみんなで実現していけるよう、頑張る人が頑張ればよいというものではなく、できることをみんなで少しずつしていけるまちになればと思います。

上記の骨子（案）以外にも、ご本人・家族・近所の人が困っていること、この団体さんがにこんなことをしてほしい、私にはこんなことができるかもしれない、などどんなことでも構いません。みなさんのご意見をお聞かせください。また、従来から踏襲している「あの人の幸せを 私の幸せに」と併せて広めていけるようなスローガンもありましたら、ご意見をお寄せください。

募集期間 平成30年1月19日（金）
宛 先 メール：tiiki@jyoshakyo.or.jp

電話：56-0909

FAX：56-2800

お手紙：〒610-0121 城陽市寺田東ノ口17 城陽市社会福祉協議会 宛

みなさんのご意見
お待ちしております



「杉の子会」ご協力のもと 福祉体験学習を行いました

11月24日、寺田南小学校の4年生を対象に、車いす介助グループ「杉の子会」に協力いただき、福祉体験学習を行いました。この学習は、福祉についての理解を深め、福祉のこころを育むことや、福祉にかかわる実践力を育むことにつながります。これからの社会を担う子どもたちが自分のことだけでなく、他者のことも思いやれるような人に育ってくれるよう、学校やボランティア団体と協力して、車いす体験の他にも、高齢者疑似体験やアイマスク体験、点訳や手話など、さまざまな福祉体験を市内の小中学生を対象に行っています。



杉の子会 会員募集

定例会：毎月第2月曜日
 活動内容：障がい者や要介護高齢者の日中活動車いす介助、福祉体験学習の指導等
 活動頻度：身障者 毎月木曜日
 高齢者 毎月第2・4金曜日
 第4火曜日
 福祉学習 年6～8小中学校
 会費：1000円/年
 問合せ：市社協 ☎ 56-0909

体験した生徒の感想

今日、車いす体験をして感動したことは、人は自然と、いろんな人の立場を考えられることです。

どうしてかと言うと、車いすに工夫がされていて、乗る人が安心して乗れるからです。

例えば、ティッピングレバーです。もしこのレバーがなければ、だん差のたびに、乗っている人はこわくなると思います。でもレバーがあると、少しはこわいけど、レバーがないよりは安心です。

あと、少し気づいたことがあります。

妹が車いすにのっているけど、乗っている人はもちろん、車いすを動かす人もこわくなるのが分かりました。妹の車いすはお母さんがおしているのですが、動かす人の気持ちは分かりませんでした。でも今日、乗っている人にケガさせたら大変だ、とドキドキしながら動かしているのが分かりました。

このように、しょうがいをもつ人の心を考えて、車いすを作ったり、動かしたりしているのが分かりました。

この体験を生かして、いろんな人の立場や心を考えていきたいです。

こんなとき、福祉サービス利用援助事業をお尋ねください

○こんなことを感じたことはありませんか



自分に合った福祉サービスはどんなのがあるのかな？どう利用するのかな？(高齢者・障がい者)

ATMの使い方や手続きに毎回困っているおじいちゃんがいるけど大丈夫かな？(金融機関社員)



近所のおばあちゃんに支払いを頼まれることがあるけど、このままでいいのかしら？(近隣住民)

家に届く行政の通知や介護保険の書類がよく分からない。誰か一緒に見てほしいな。(高齢者・障がい者)



離れて暮らしている母親が最近物忘れが出てきて通帳やハンコをよくなくしている。心配だな。(息子)

今は私たちが見ているけど、他に頼める制度はないかしら？(障がいがある子をもつ母親)

○社協ではこんなお手伝いをしています



福祉サービスの利用のお手伝い

福祉サービスの情報提供、利用・解約・支払いなどさまざまな手続きをお手伝いします。



日常的な金銭管理のお手伝い

年金や手当などの受け取りのための手続き、税金・公共料金・医療費・家賃などの支払い、日常生活に必要な預貯金の払戻し・預け入れなどの金銭管理をお手伝いします。



書類などのお預かり

紛失防止のため、通帳・実印・銀行印・年金証書など大切な書類をお預かりします。

○ご利用いただける方

(①・②どちらにも当てはまる方がご利用いただけます。)

- ①認知症・物忘れのある方、知的障がいや精神障がいのある方
- ②この事業の契約および支援計画の内容について理解できる方

認知症の診断や療育手帳・精神保健福祉手帳は必要ありませんが、市社協の専門職員が自宅を訪問し契約を理解する能力があるか確認を行います。契約は必ず利用者ご本人と行います。

○ご利用料金

- ・相談や「支援計画」の作成までは無料です。
- ・「支援計画」に基づいて行うサービス・・・1時間1,000円(移動費実費は別途ご負担いただきます)
- ・通帳・はんこ・書類などの保管料は、別途250円/月程度
※低所得世帯の方には補助が出る場合があります。

○生活支援員募集

みなさんも手助け活動してみませんか？
 活動内容：上記事業の対象者宅に訪問し、日常生活に係る金銭管理(生活費の払出しや各種支払い手続き)や郵便物の確認・整理の援助等

活動頻度：月1,2回程度、1回1～2時間程度
 (担当していただく利用者は1～2名です)

時給：860円/時間(別途交通費の支給あり)
 ※年3回程度研修があり、未経験の方でも安心です。

問合せ先：市社協 ☎56-0909
 ちょっとしたことでも構いません。お気軽にお電話ください。

老人福祉センターのイベント

※陽和苑・陽東苑・陽幸苑に駐車場はありません。
また、陽寿苑には駐車場がありますが、満車になりやすいため、老人福祉センター送迎バスのご利用をおすすめしています。ぜひご利用ください。

陽寿苑

住所：奈島川原口 20
電話：55-1017

○絵手紙教室

日 時：毎月第2木曜日 10:00～12:00
(1月11日、2月8日、
3月8日)

対象者：60歳以上の市内在住の方
その他：無料、定員20名、申込先 陽寿苑



○ヨガ教室

日 時：1月30日(火)、3月6日(火)
10:30～11:30

対象者：60歳以上の市内在住の方
その他：無料、申込不要



○元気アップ教室『太極舞』

日 時：12月19日(火)、1月25日(木)
13:30～15:00

対象者：60歳以上の市内在住の方
その他：無料、申込不要



陽東苑

住所：久世芝ヶ原 131
電話：53-3700

○クリスマス会&忘年会

日 時：12月20日(水) 10:30～15:00
内 容：講演「住宅火災対策(城陽消防本部)」
市高齢者連合会(女性部)による
体操および踊り

対象者：60歳以上の市内在住の方
その他：昼食代700円、申込先 陽東苑



○認知症予防ゲーム

日 時：毎月第4木曜日 13:30～14:30
(12月21日、1月25日、
2月22日、3月22日)

対象者：60歳以上の市内在住の方
その他：無料、申込不要



陽和苑

住所：平川大將軍 2
電話：52-9670

○ふれあい「正月遊び」

日 時：1月9日(火) 10:00～11:00
内 容：園児さんご利用者さんが「正月遊び」で
ふれあい
対象者：60歳以上の城陽市
在住の方
その他：無料、
申込先 陽和苑



(昨年度の様子→)

○物忘れ予防教室

日 時：毎月第4金曜日 奇数月は 10:30～12:00
偶数月は 14:00～15:30
(12月22日、1月26日、
2月23日、3月23日)
内 容：ご利用者さん特製パズル・文字合わせ・間
違い直し・「城陽環境かるた」取り 等
対象者：60歳以上の市内在住の方
その他：無料、申込先 陽和苑

陽幸苑

住所：寺田乾出北 55
電話：53-9393

○陽幸苑まつり

日 時：3月6日(火)～3月10日(土)
9:00～16:00
内 容：作品展示(6・7日)、サークルの舞台発表(8
日)、カラオケ発表(9日)、将棋大会(10日)
対象者：どなたでもお気軽にお越しください
将棋大会のみサークル加入者が対象です。
その他：無料、カラオケ発表のみ陽幸苑へ要申込(60
歳以上の市内在住の方、申込が多数あった
場合抽選)

○絵画サークル「七色の会」作品展示会

日 時：12月1日(金)～1月5日(金)
9:00～16:00
対象者：どなたでもお気軽にお越しください
その他：無料、申込不要

○今池保育園とのクリスマス交流会

日 時：12月19日(火) 9:00～12:00
場 所：今池保育園
内 容：保育園児のクリスマス会を観覧
対象者：60歳以上の市内在住の方
その他：無料、申込先 陽幸苑
今池保育園までの送迎有



第66回京都府 社会福祉大会 受賞者の報告

(順不同・敬称略)

9月5日、京都テルサにて京都府社会福祉大会が開催され、府内の福祉関係者が一堂に集い、福祉の発展に功績のあった方や団体が表彰されました。

京都府社会福祉協議会
会長表彰・感謝

【表彰】

○社会福祉事業特別功労者
西浦和美(梅花園)
辰巳幸子(うめの木福祉会)

○社会福祉協議会活動功労者
中村宏子 布村孟三
西根榮次 竹中功

○ボランティア功労者
山田和子

京都府共同募金会
会長表彰・感謝

【表彰】

○奉仕功労者
竹村友子

【感謝】

○法人・団体寄付
(一社)
宇治久世医師会
宇治久世歯科医師会
城陽薬剤師会



右 代表受賞する西根氏
左 府社協位高会長
右 西根氏
右から3人目(竹中氏)、
4人目(西根氏)、5人目
(辰巳氏)



城陽市社会福祉大会のご案内

地域のみなさまや関係機関・団体が相互に連携・協力しあい、よりよい地域になることを願って開催します。

- ▼日にち 平成30年2月3日(土)
- ▼時間 13:00~15:45
- ▼場所 文化バルク城陽 ふれあいホール
- ▼内容
 - 第1部：式典(13:00~13:45)
地域福祉の推進に貢献された方に表彰状・感謝状を贈呈します。
 - 第2部：児童・生徒の福祉作文コンクール表彰・発表(13:45~14:00)
最優秀に選ばれた児童・生徒たちへ賞状贈呈および作文の発表をしていただきます。
 - 第3部：講演(14:15~15:45)
僧侶・アナウンサーの川村妙慶氏の“こころ”が笑顔になるお話です。
- ▼問合せ先 市社協 TEL:56-0909
- ▼その他 無料、申込不要



第3部 講師の紹介

KBSラジオ
毎週土曜朝8時
「心が笑顔になるラジオ」
でおなじみ

講師：川村妙慶氏(僧侶・アナウンサー)
親鸞上人の教えをもとに、“こころ”が笑顔になるお話で現代の様々な問題を温和かつ明朗な口調で丁寧に説かれます。
多数の著書をはじめ、KBS京都でのラジオ放送、京都新聞や産経新聞などでコラムも連載されている大人気の方です。

※途中参加も可能です※
興味のある部にぜひご参加ください。

ボランティアフェスティバル

地域のみなさまに、市内で活動されている福祉ボランティアグループの活動を知っていただきたいという思いから開催いたします。色々な活動体験ブースやパネル展示、キッズコーナーなど、楽しいイベントを企画していますので、ぜひお越しください。

- ▼日にち 平成30年2月18日(日)
- ▼時間 13:00~16:00
- ▼場所 福祉センター
- ▼内容
 - 舞台発表
手話歌など
 - 福祉体験コーナー
各参加団体のブースあります
 - キッズコーナー
絵本の読み聞かせ、バルーンアートなど
 - 各サークル紹介コーナー
 - 福祉機器の展示
- ▼問合せ先 市社協 TEL:56-0909
- ▼その他 無料、申込不要

体験コーナーに参加すると素敵なプレゼントがもらえます!

参加ボランティア団体

車いす介助	車いす介助グループ「杉の子会」
点字	城陽点字サークル「たんぼぼ」
要約筆記	城陽要約筆記サークル「ダンボ」
手話	城陽手話サークル「てまり」
手話	城陽手話サークル「めだか」
介護支援	介護支援サークル「やわらぎ」
傾聴	傾聴ボランティア「コスモス」
朗読	朗読ボランティア「陽声」
困りごとのお手伝い	メンズボランティア「手助け隊」
読み聞かせ等	城陽おはなしサークル
ボランティア間の連携等	城陽ボランティア連絡協議会

昨年の様子



城陽おはなしサークルの読み聞かせ



介護支援サークル「やわらぎ」の認知症予防コーナー

城陽市共同募金会の義援金情報

- 平成28年熊本地震義援金
募集期間：平成28年4月15日~平成30年3月31日
平成29年11月30日現在 合計額 3,073,299円
- 九州豪雨災害義援金
募集期間：平成29年7月10日~平成29年12月28日
平成29年11月30日現在 合計額 88,737円
- 台風21号三重県災害義援金
募集期間：平成29年10月31日~平成30年1月31日
- 和歌山県平成29年台風21号災害義援金
募集期間：平成29年11月2日~平成30年1月31日

城陽市共同募金会では、上記義援金を福祉センター1階の窓口で受付しており、老人福祉センターへも募金箱を設置しています。ご寄付いただいた義援金はその全額を被災された方々の生活再建のためにお届けしています。ご協力をお願いいたします。

本会へのご寄付

ありがとうございました

(平成29年9月1日~平成29年11月30日現在)【敬称略】

- 木田 慶子 50,000円
- 愛媛工務店 13,000円
- 田中 悦子 クリスマスツリー2台

寄付金は本会の善意銀行基金に積み立て城陽市内で行う地域福祉やボランティア活動の推進にて活用させていただきます。また、クリスマスツリーは陽寿苑・陽幸苑にて活用させていただきます。

10月29日に中止をしました「城陽福祉ふれあいまつり」は、6団体から110,000円相当の金品のご寄付をいただきました。このご寄付は来年の城陽福祉ふれあいまつりの活動に活用させていただきます。

今後とも、ご支援・ご協力をよろしく申し上げます。